

2015年3月期 決算説明会

代表取締役社長 秋沢英海

ウイン・パートナーズ株式会社
WIN-Partners Co., Ltd.



証券コード：3183



会社概要

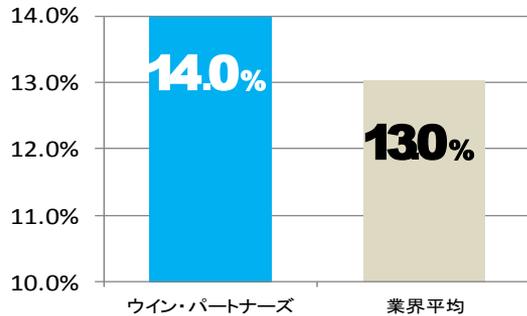
独立系の医療機器商社グループ

- 医療機器の適正使用支援
- 病院のバリューアップ支援

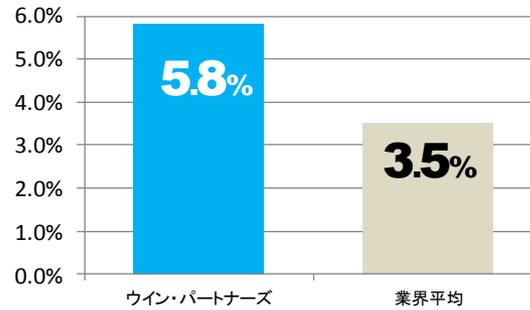


同業他社比較（2013年度）

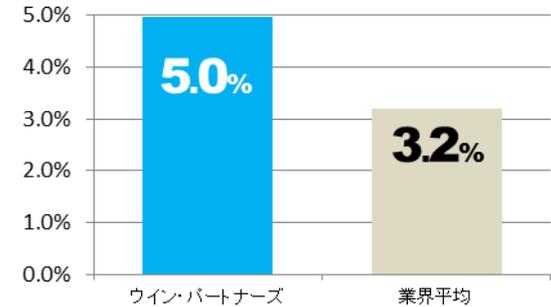
ROE



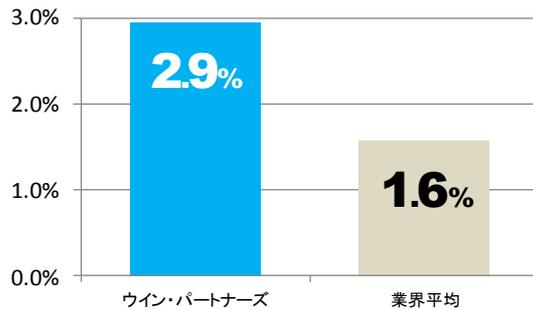
ROA



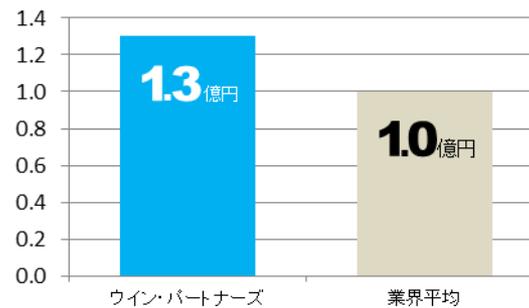
売上高営業利益率



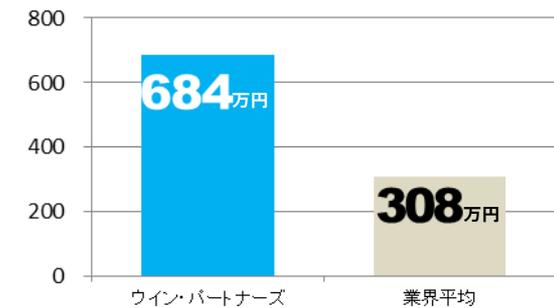
売上高当期純利益率



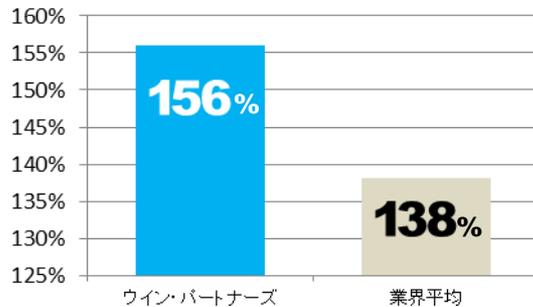
一人当たり売上高



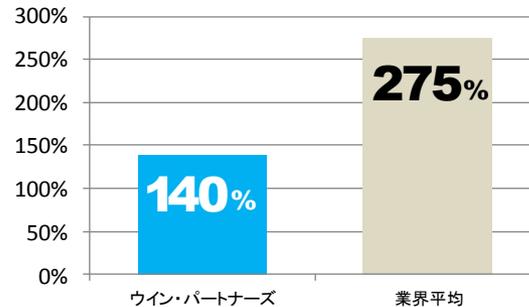
一人当たり営業利益



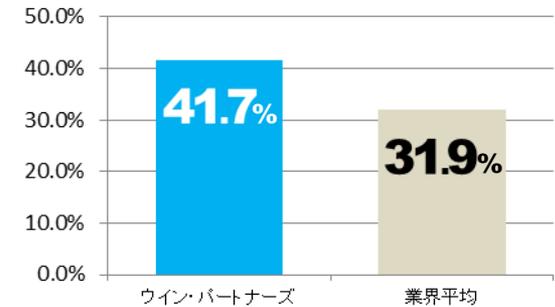
流動比率



負債比率



自己資本率



※ウイン・パートナーズ数値は経営統合による特別利益調整後の値を使用。

※業界平均は当社、カワニシHD(2689)、山下医科器械(3022)、ほくやく・竹山HD(3055)、DVX(3079)、メディアスHD(3154)、シップヘルスケアHD(3360)、日本ライフライン(7575)の2013年度の有価証券報告書等に基づき当社作成。

① 成長性の高い

「低侵襲医療」※に特化

(※苦痛や出血などの身体的負担が少ない検査や治療)

② プロに徹したサービスの提供

顧客は地域の有力医療機関

狭心症/心筋梗塞
ステント



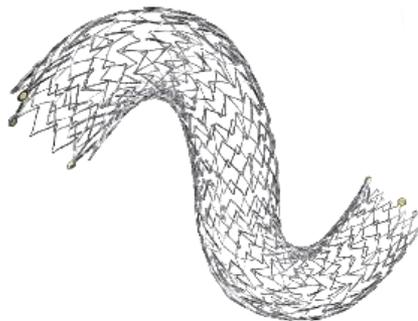
不整脈
ペースメーカー



大動脈瘤
ステントグラフト



閉塞性動脈硬化症
末梢血管用ステント



脳動脈瘤
塞栓用コイル



糖尿病
インスリンポンプ



検査
MRI



医療機器を正しく使う為の医療現場支援

手術前

- ◆手術プランニングの確認
- ◆症例に最適な医療機器の選択
- ◆使用方法の説明、出荷サイズの決定、納品等



手術中

- ◆緊急時対応の為、待機等



手術後

- ◆未使用品の回収、返品、代金請求
- ◆補充、在庫管理等



医療の質向上や競争力強化を総合的に支援

高度医療化支援

- ◆最先端の技術、製品の提案
- ◆設備投資提案
- ◆人材補強支援



マーケティング支援

- ◆診療圏調査
- ◆ターゲット地域、診療領域の提案
- ◆集患、増患施策の提案



収益性改善支援

- ◆効率的なオペレーションの提案
- ◆コスト削減策の提案



1

心臓関連製品の拡大

- ◆ 新しい治療法の普及促進
- ◆ 新製品の拡大

2

治療領域の拡大

- ◆ 低侵襲治療を心臓以外へ拡大

3

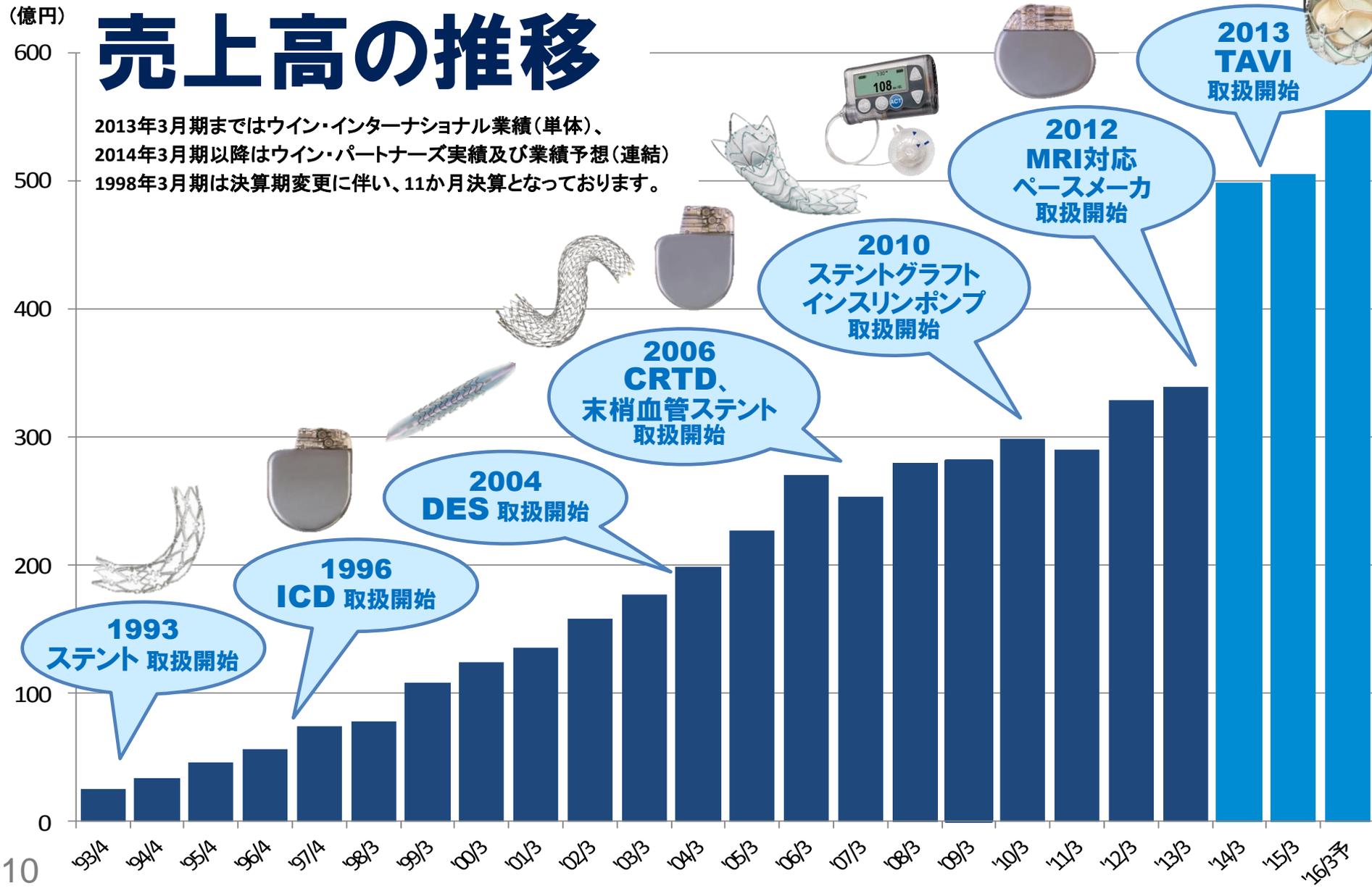
地域、顧客の拡大

- ◆ M&A等により、全国主要都市へ展開

(億円)

売上高の推移

2013年3月期まではウイン・インターナショナル業績(単体)、
2014年3月期以降はウイン・パートナーズ実績及び業績予想(連結)
1998年3月期は決算期変更に伴い、11か月決算となっております。



経皮的冠動脈形成術

心筋梗塞、狭心症等を血管内から治療する低侵襲治療法

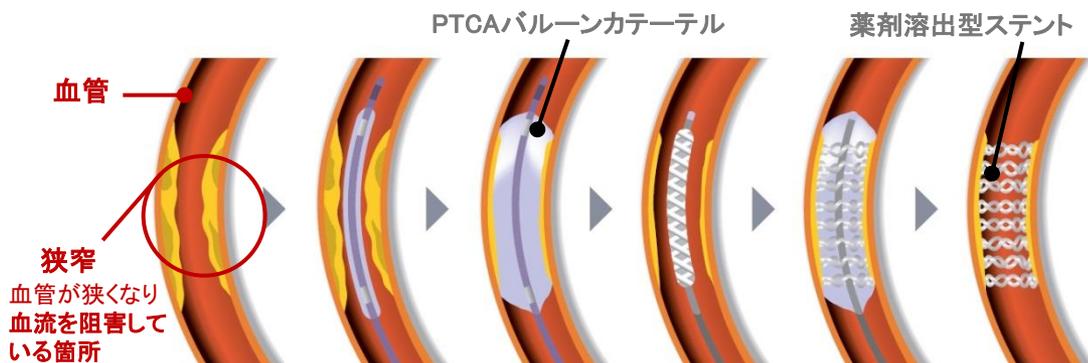
PTCAバルーンカテーテル



薬剤溶出型ステント(DES)



血管内超音波(IVUS)診断カテーテル



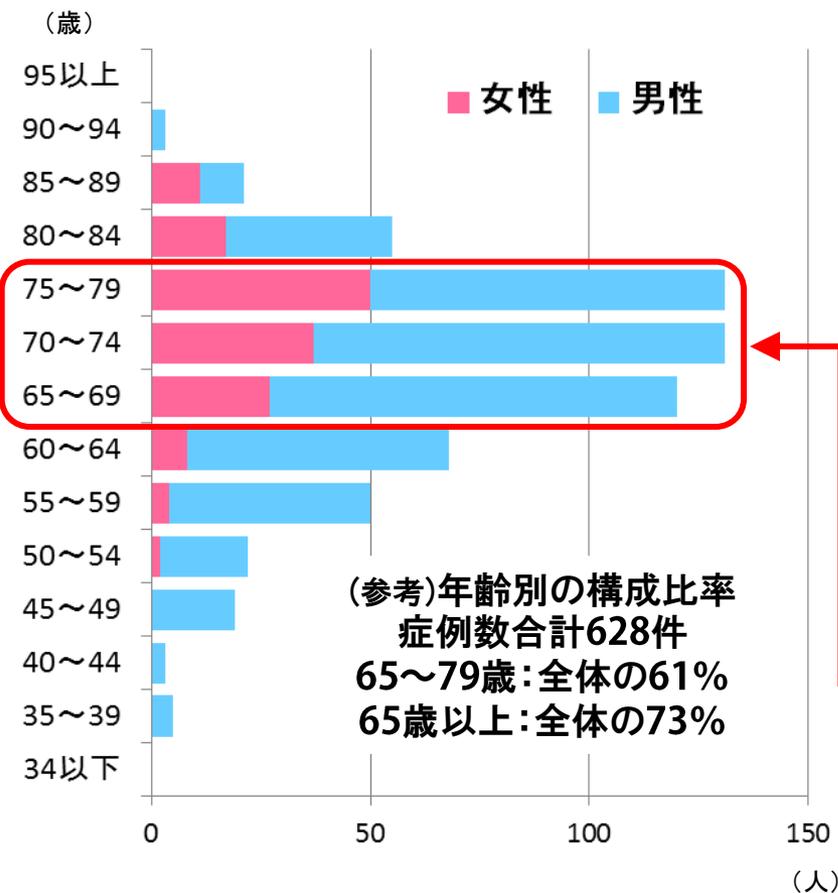
(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2014年版」

虚血性心疾患関連（PCI） 高齢化が追い風

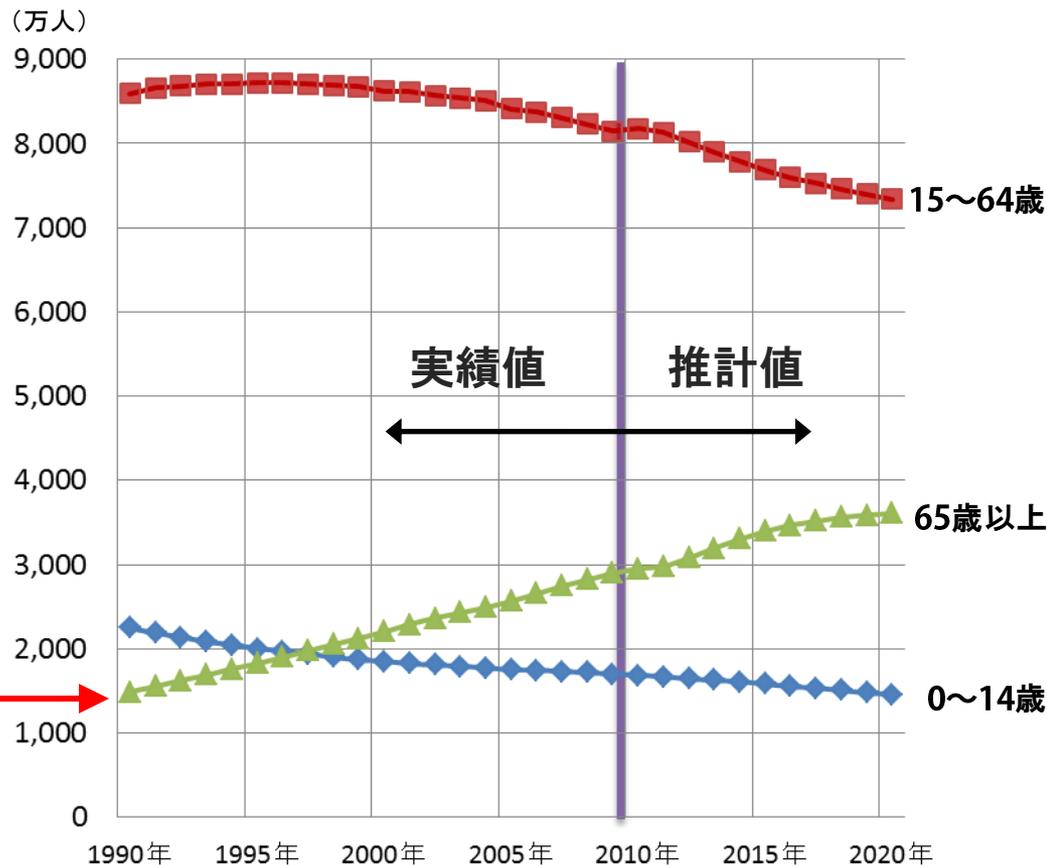
① PCIの中心患者は65歳～79歳

② 中心患者(65歳～79歳)人口が増加

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



年齢3区分別人口の推移

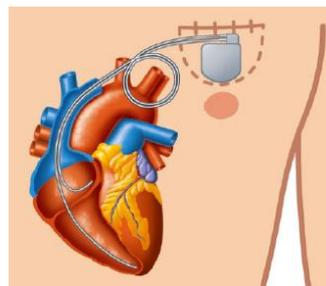


(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数(2010年調査)

(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)

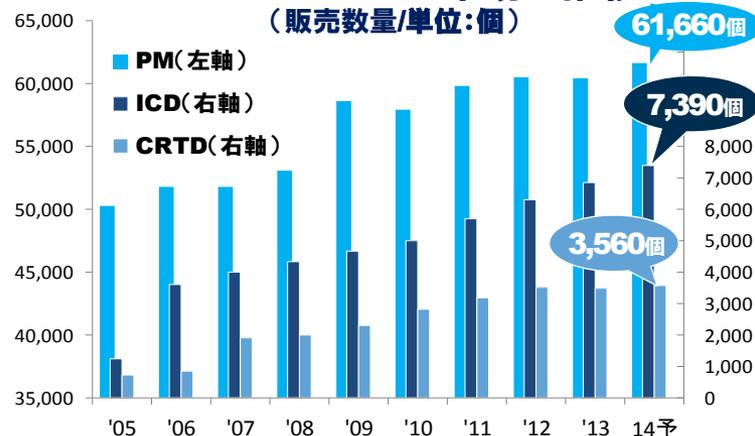
ペースメーカー・ICD・CRTD移植術

不整脈等を治療する医療機器を埋め込む治療法



PM・ICD・CRTD市場の推移

（販売数量/単位:個）



（出典）R&D「医療機器・用品年鑑2014年版」

心筋焼灼術（アブレーション:ABL）

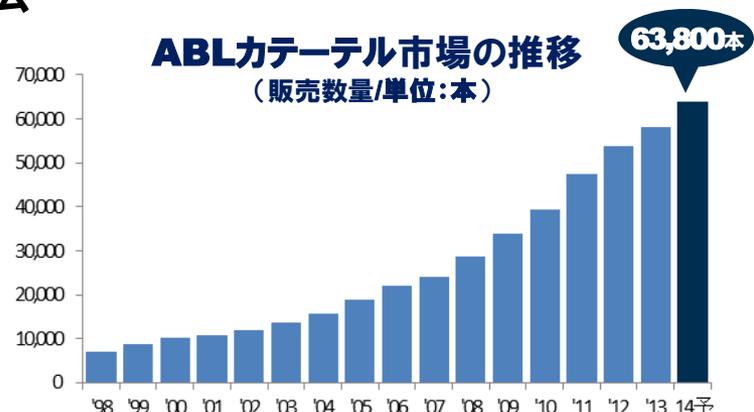
不整脈を引き起こす異常な部分を焼灼する治療法

心筋焼灼用カテーテル
（アブレーション:ABL）



ABLカテーテル市場の推移

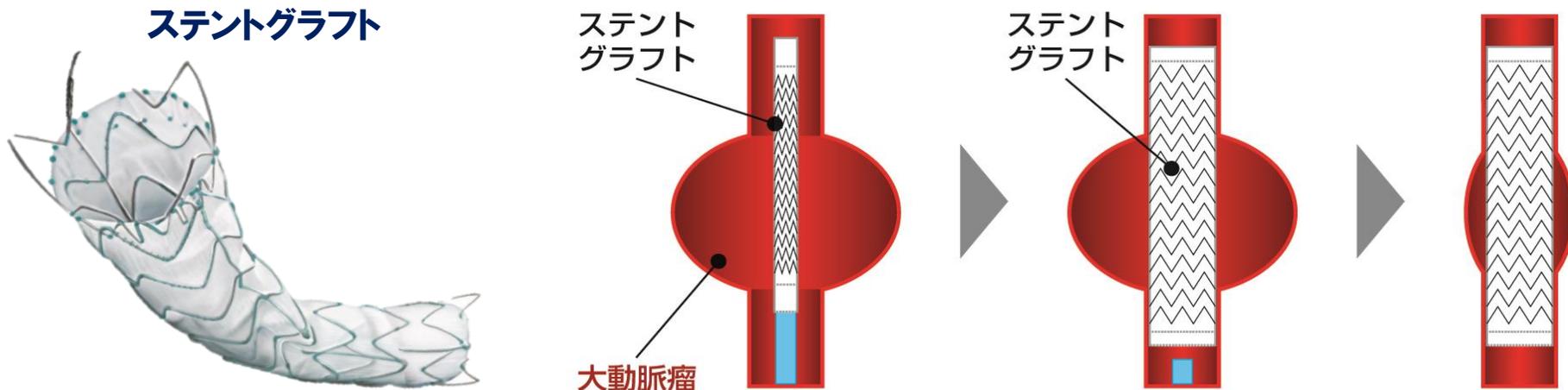
（販売数量/単位:本）



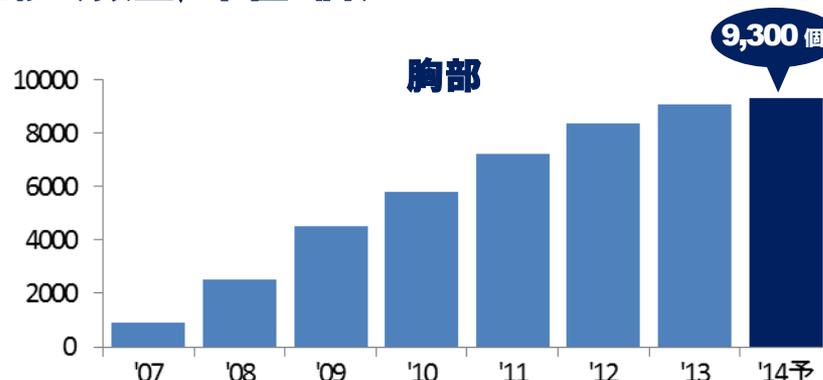
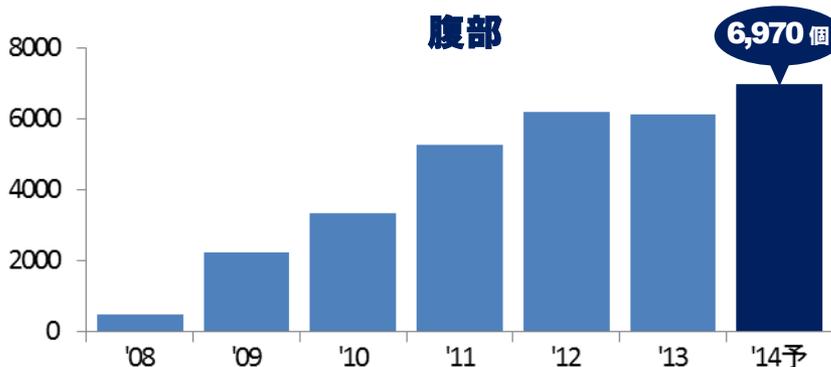
（出典）R&D「医療機器・用品年鑑2014年版」

ステントグラフト内挿術

大動脈瘤等を血管内から治療する低侵襲治療法



ステントグラフト市場の推移（数量/単位:個）



経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）

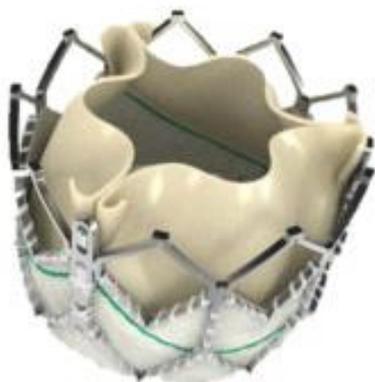
大動脈弁狭窄症の低侵襲治療。

外科手術ができない高齢患者や重症患者も治療可能に。

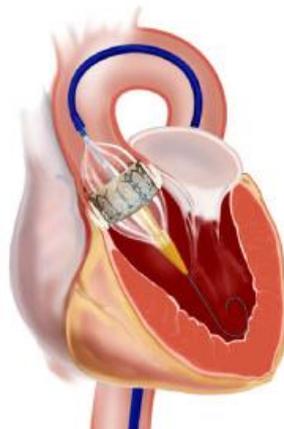
2013年10月より保険適用

バルーン拡張型人工生体弁セット（公定価格 ￥4,650,000）

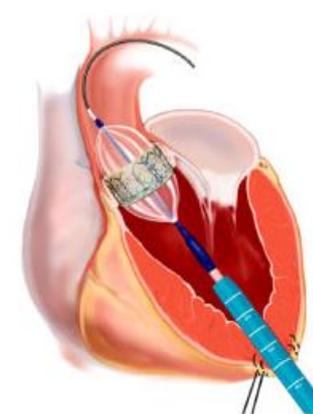
植え込む人工弁



足の血管からの治療



胸壁からの治療



経皮的末梢血管形成術

下肢動脈等の血流悪化を血管内から治療する低侵襲治療法

シャント症例

腎臓病の治療で血液透析を行うため、動脈と静脈を縫い合わせた血管(シャント)に生じた狭窄等を治療

PTAバルーンカテーテル



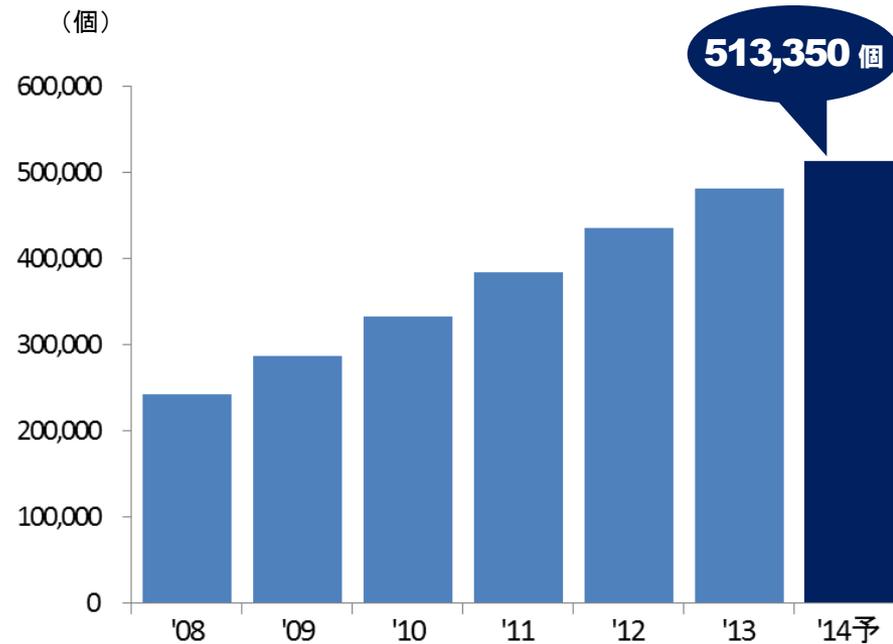
末梢症例

主に足(下肢)の閉塞性動脈硬化症を治療

末梢血管用 ステント



PPI市場の推移 (カテーテル・ステント等の数量)

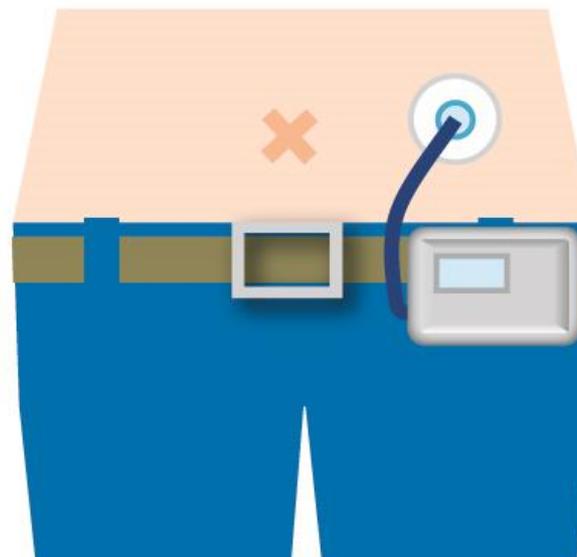


(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2014年版」

インスリンポンプ療法

従来よりも適切な血糖管理が可能な糖尿病治療法

インスリンポンプ



血糖値変動の測定データをインスリンポンプにプログラミングし、インスリンを持続的に体内に注入し、血糖値をコントロールする。

全国体制の構築

グループ営業拠点（2015年5月末現在）

20 拠点



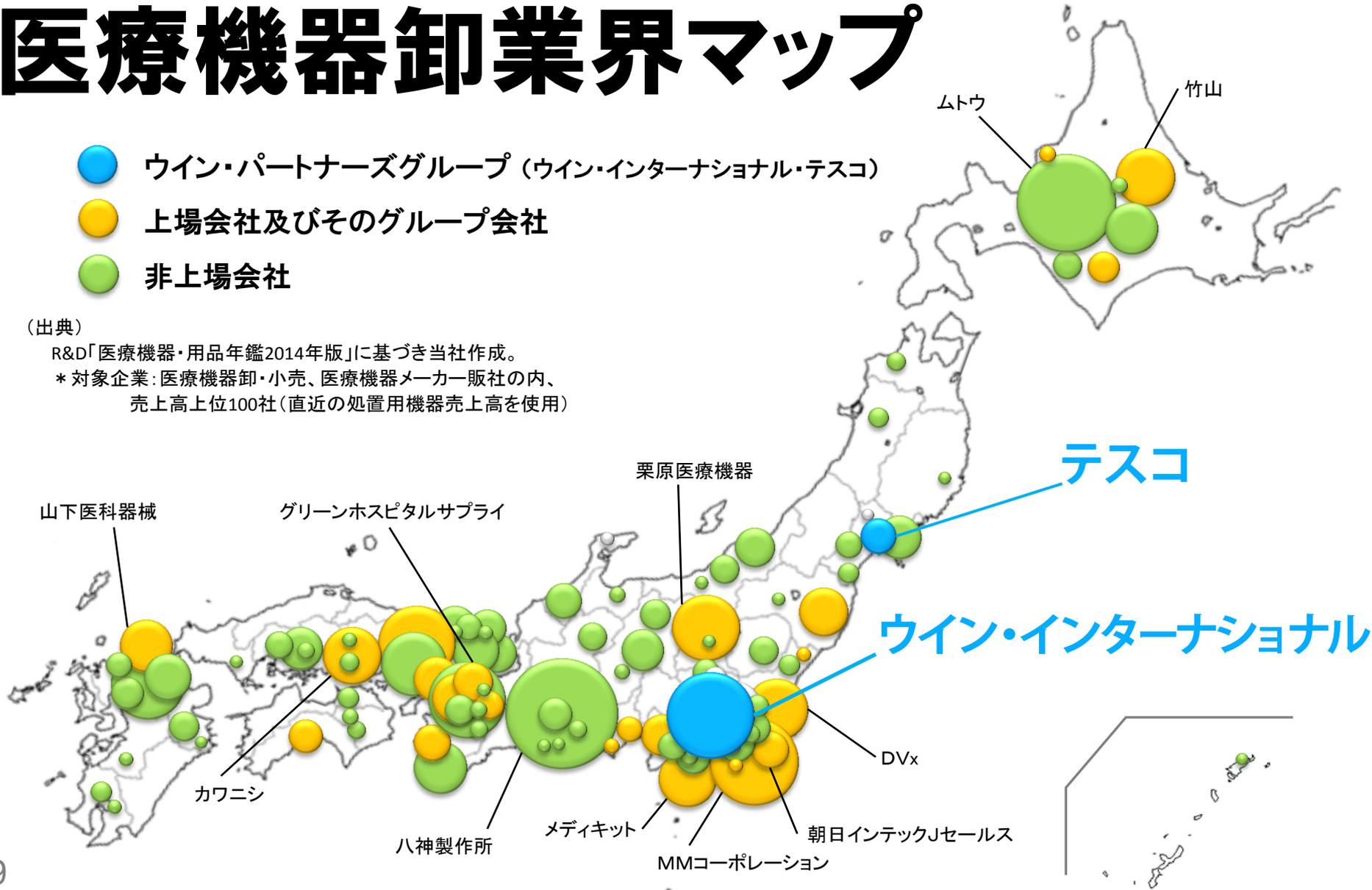
医療機器卸業界マップ

- ウイン・パートナーズグループ (ウイン・インターナショナル・テスコ)
- 上場会社及びそのグループ会社
- 非上場会社

(出典)

R&D「医療機器・用品年鑑2014年版」に基づき当社作成。

* 対象企業: 医療機器卸・小売、医療機器メーカー販社の内、
売上高上位100社(直近の処置用機器売上高を使用)



2015年3月期 決算概要

償還価格改定期だが、増収増益を達成

(単位:百万円)

	前期	当期	前期比	計画
売上高	49,826	50,558	+1.5%	51,000
営業利益	2,479	2,599	+4.8%	2,573
経常利益	2,499	2,626	+5.1%	2,578
当期純利益	1,840	1,690	▲8.1%	1,659
1株当たり当期純利益(円)	128.22	117.78	-	115.59
1株当たり純資産(円)	782.58	872.05	-	-

	前期		当期	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	49,826	100.0	50,558	100.0
売上原価	43,431	87.2	43,862	86.8
売上総利益	6,395	12.8	6,695	13.2
販売管理費	3,915	7.9	4,096	8.1
営業利益	2,479	5.0	2,599	5.1
営業外収益	20	0.0	30	0.1
営業外費用	0	0.0	2	0.0
経常利益	2,499	5.0	2,626	5.2
特別利益	378	0.8	4	0.0
特別損失	107	0.2	1	0.0
税前利益	2,770	5.6	2,629	5.2
税金費用	929	1.9	938	1.9
当期純利益	1,840	3.7	1,690	3.3

4月 保険償還価格の改定

子会社の福島県の営業所を統合

5月 東京証券取引所 市場第二部への市場変更

6月 広島県に小規模営業拠点を開設

8月 熊本県に小規模営業拠点を開設

9月 東京証券取引所 市場第一部へ昇格

テスコ本社兼倉庫を移転増強

11月 北海道函館市に小規模営業拠点を開設

12月 長野県佐久市に出張所を開設

3月 100万株の株式売出を実施

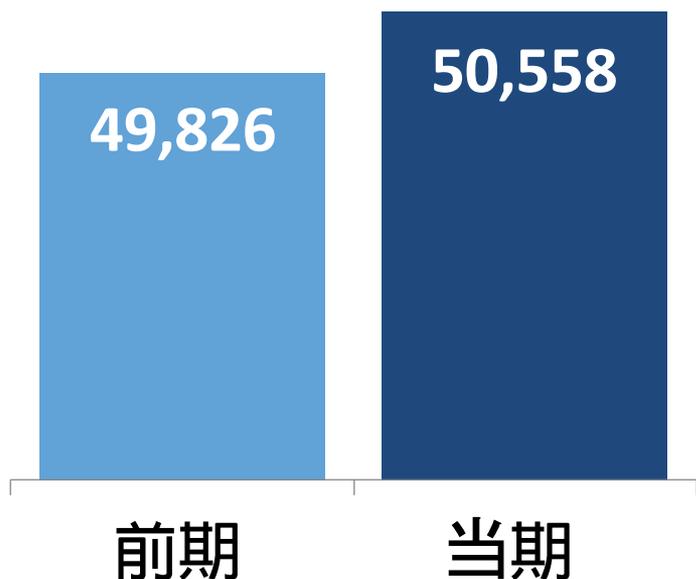
- ◆ **償還価格改定に伴う価格交渉**
利益率維持の水準で **メーカー** と妥結
医療機関
- ◆ **PTCAバルーンカテーテルの
一括買取によるコストダウン**
- ◆ **営業拠点の統合、新設**

売上高

前期比 **+1.5%**

計画比 **▲0.9%**

(単位：百万円)



計画未達も増収を確保

新規顧客の獲得が 増収に寄与

今期開設の新拠点

(北海道(函館)、広島県、長野県等)

及び既存エリアの深耕

当社グループへの影響（対売上高） ▲5.7%

製品分類	特定保険医療材料の償還価格(千円)		売上高に対する影響度(%)
	2012年	2014年	
虚血性心疾患関連(PCI)	-	-	▲8.5
PTCAバルーンカテーテル(PTCA-BC)	79	67	▲14.9
薬剤溶出ステント(DES)	295	261	▲11.5
血管内超音波(IVUS)診断カテーテル	115	109	▲5.2
心臓律動管理関連(CRS)	-	-	▲4.6
ペースメーカー	1,000	827	▲17.3
ペースメーカー *MRI対応型	※ (1,050)	1,040	▲1.0
植込型除細動器(ICD)	3,060	2,970	▲2.9
両室ペースキング機能付植込型除細動器(CRTD)	4,090	4,040	▲1.2
心筋焼灼術用(ABL:アブレーション)カテーテル	158	149	▲5.7
心臓血管外科関連(CVS)	-	-	▲2.0
ステントグラフト(腹部)	1,520	1,510	▲0.7
経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)用生体弁	※ (4,530)	4,650	+2.6
末梢血管疾患関連(PPI)	-	-	▲5.6
脳外科関連	-	-	▲1.2
合計	-	-	▲5.7

※2012年改定以降の発売の為、発売時の償還価格を記載しております。

分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	売上高伸長率(%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率(%)	増減(ppt)
虚血性心疾患関連(PCI)	21,067	+2.1	+1.2	41.7	▲ 0.1
心臓律動管理関連(CRS)	10,055	+30.7	+16.8	19.9	+2.6
心臓血管外科関連(CVS)	6,707	▲ 11.8	+1.6	13.3	+0.1
末梢血管疾患関連(PPI)	2,678	+9.0	▲ 0.3	5.3	▲ 0.1
脳外科関連	1,568	+5.6	+5.0	3.1	+0.1
糖尿病関連(DMS)	579	-	+12.9	1.1	+0.1
大型医療機器関連	4,009	-	▲ 33.9	7.9	▲ 4.3
その他	3,893	-	+28.4	7.7	+1.6
合計	50,558	-	+1.5	100.0	

※「その他」の基準の見直しに伴い、前期数値も比較可能に組み替えております。

分類別売上高ハイライト（対前期）

PCI 新規拠点を中心に新規顧客を獲得し、症例数が増加(+8.3%)
償還改定の影響をカバーし、微増

CRS 既存顧客が大きく伸長し、2桁増収。製品ではEP・アブレーション、
MRI対応型製品〔PM、ICD、CRTD〕が好調

CVS オンポンプバイパス手術の症例数減を、
ステントグラフト・TAVIの症例数増でカバーし、微増

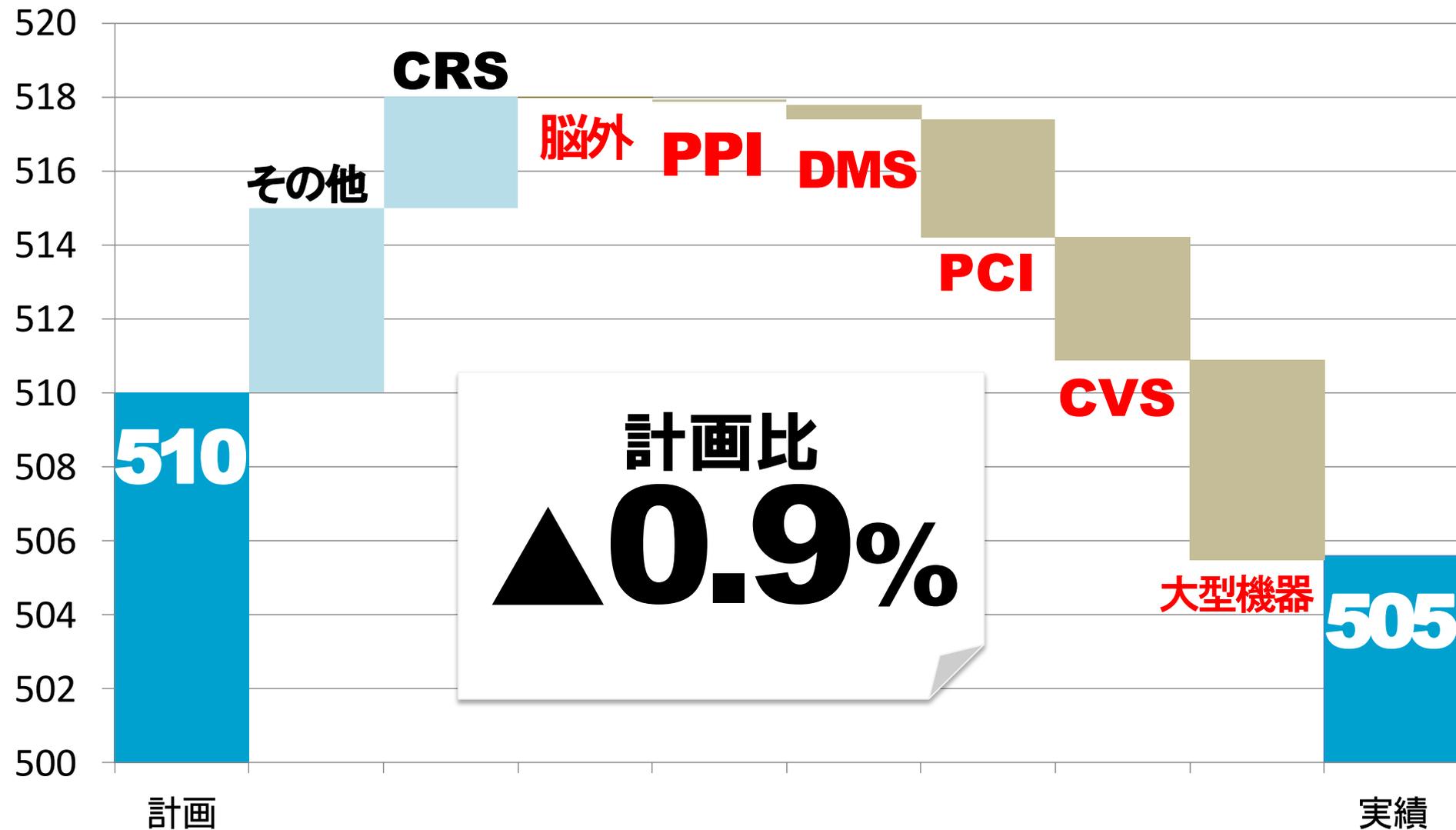
PPI 新規顧客の獲得やシャント症例数増加によるPTAバルーンカテーテル
の販売数量増はあったが、償還改定の影響をカバーできず、微減

大型医療機器関連 前期の増税前の駆け込み需要の反動で大幅減収

その他 消化器系製品、小型医療機器(検査機器等)が好調で、2桁増収

分類別売上高分析（対計画）

(億円)



PCI 新規顧客の開拓が遅れ、計画比 **▲1.5%**

CRS 既存顧客の好調、**EP・アブレーション、MRI対応型製品**（PM、ICD、CRTD）の販売数量増により、計画比 **+3.1%**

CVS スtentグラフトが計画を上回るが、顧客施設の**TAVI**施設基準認定の遅れ等により、計画比 **▲4.7%**

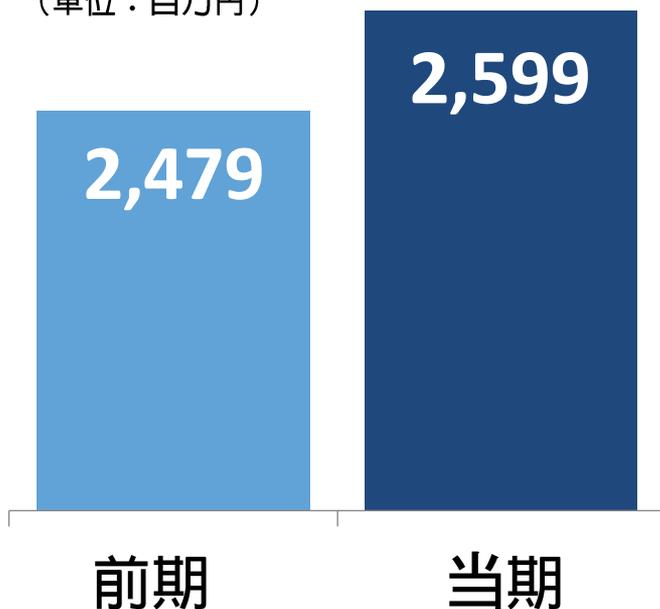
大型医療機器関連 医療施設の投資計画の見直し等により、計画比 **▲11.9%**

その他 消化器系製品、機械保守等の好調により、計画比 **+14.7%**

営業利益

前期比 **+4.8%**
計画比 **+1.0%**

(単位：百万円)



売上総利益率の改善により、 営業利益は計画達成

売上総利益率

実績 **13.2%**

前期比 **+0.4ppt**

【プラス要因】・低利益率の大型機器の売上高構成比低下
・PTCAバルーン買取等によるコストダウン

【マイナス要因】・低利益率のCRSの売上高構成比上昇

販売管理費率

実績 **8.1%**

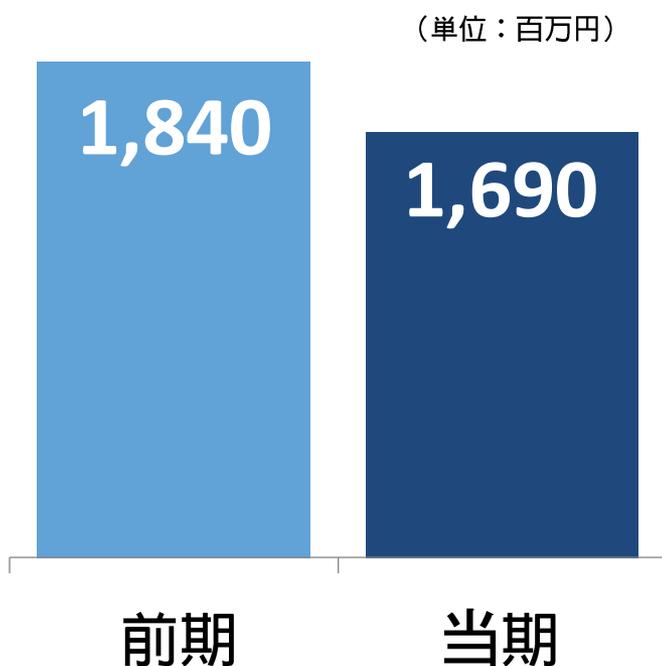
前期比 **+0.2ppt**

人件費は前期比**+7.5%**

(人員：前期末**372**名→今期末**399**名)

当期純利益

前期比 **▲8.1%**
計画比 **+1.9%**



前期の経営統合による

特別利益377百万円の反動

(負ののれん発生益、テスコ株の差益)

連結貸借対照表

	2014年3月末		2015年3月末		増減金額 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
流動資産	23,922	88.8	24,537	88.4	614
現金・預金	8,563	31.8	7,238	26.1	▲1,325
売上債権	13,798	51.2	14,512	52.3	714
商品	1,124	4.2	2,106	7.6	982
その他流動資産	436	1.6	679	2.4	243
固定資産	3,011	11.2	3,228	11.6	217
資産合計	26,934	100.0	27,765	100.0	831
流動負債	15,326	56.9	14,821	53.4	▲505
仕入債務	14,276	53.0	13,758	49.6	▲517
未払法人税等	500	1.9	499	1.8	0
その他流動負債	549	2.0	562	2.0	12
固定負債	374	1.4	427	1.5	53
負債合計	15,701	58.3	15,248	54.9	▲452
純資産合計	11,233	41.7	12,517	45.1	1,284
負債・純資産合計	26,934	100.0	27,765	100.0	831

3月末に高額の
大型機器を販売

製品一括買取
による増加

増税前の
駆け込み需要で
買掛金が前期末
に増加した反動

	(単位:百万円)	前期	当期
営業キャッシュ・フロー		2,892	▲312
税金等調整前当期純利益		2,770	2,629
減価償却費		240	276
負ののれん発生益		▲196	0
段階取得に係る差益		▲180	0
売上債権の増減額(△は増加)		▲1,701	▲714
たな卸資産の増減額(△は増加)		159	▲985
仕入債務の増減額(△は減少)		2,635	▲517
法人税等の支払額		▲1,048	▲953
投資キャッシュ・フロー		▲854	▲553
有形固定資産の取得による支出		▲828	▲507
財務キャッシュ・フロー		▲355	▲459
配当金の支払額		▲355	▲459
現金・現金同等物の増減額		1,682	▲1,325
現金・現金同等物の期首残高		4,611	8,563
株式移転による現金及び現金同等物の増加額		2,269	0
現金・現金同等物の期末残高		8,563	7,238

2016年3月期 業績予想

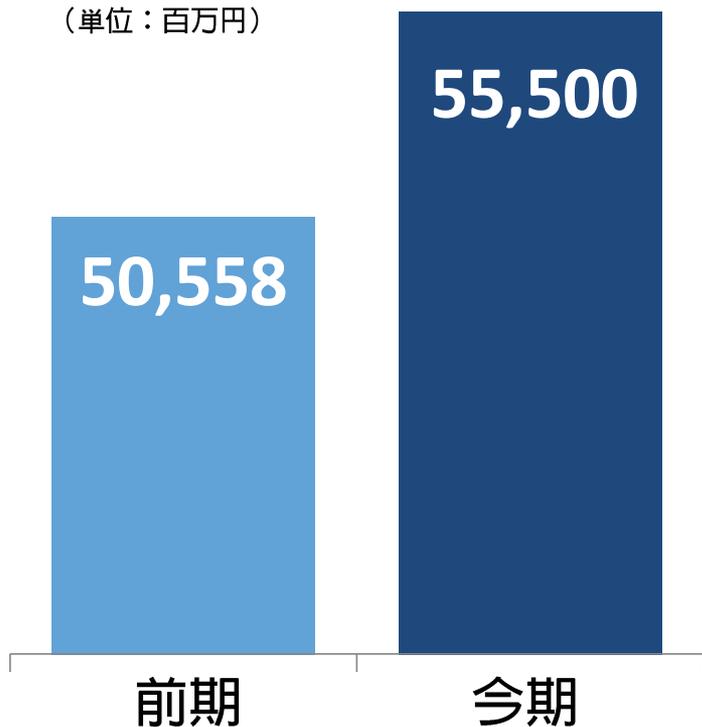
エリア拡大、成長分野の強化で増収増益

2016年3月期	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	55,500	100.0	+9.8
営業利益	2,950	5.3	+13.5
経常利益	2,950	5.3	+12.3
当期純利益	1,930	3.5	+14.2
1株当たり純利益(円)	134.46		+14.2
1株当たり配当金(円)	41.0		+7.9

売上高 +9.8%

(前期比)

(単位：百万円)



・ エリア拡大、新規顧客獲得

5月に水戸に出張所開設

新規拠点での営業活動強化

前期の新設拠点の通年寄与

・ 成長分野の営業活動強化

CRS、CVSに人員を投入し、
成長を加速

	金額(百万円)	前期比(%)	構成比(%)
虚血性心疾患関連(PCI)	23,160	+9.9	41.7
心臓律動管理関連(CRS)	11,630	+15.7	21.0
心臓血管外科関連(CVS)	7,780	+16.0	14.0
末梢血管疾患関連(PPI)	2,920	+9.0	5.3
脳外科関連	1,660	+5.8	3.0
糖尿病関連(DMS)	730	+26.0	1.3
大型機器関連	3,580	▲10.7	6.5
その他	4,040	+3.8	7.3
合計	55,500	+9.8	100.0

P C I

既存顧客にマーケティング支援を行い、症例数の増加を図るとともに、新規顧客獲得を見込み増収

C R S

心筋焼灼術(**EP**・アブレーション)、**ICD**・**CRTD**に注力
人員を投入し、営業活動の強化で**2桁増収**

C V S

TAVI・ステントグラフトの認定取得施設が通年稼働
人員を投入し、営業活動の強化で、**2桁増収**

P P I

シャント症例数の増加と新規顧客の寄与を見込み、増収

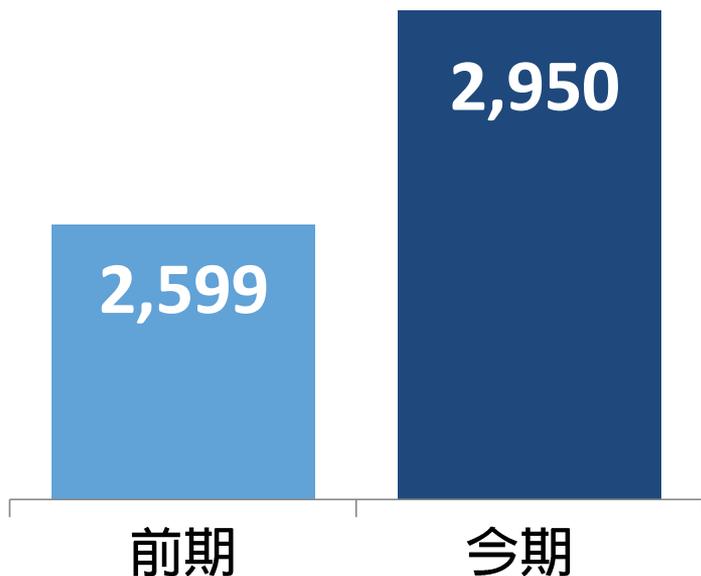
**大型医療
機器関連**

建築コストの上昇等で大型案件が減少し、減収

営業利益 +13.5%

(前期比)

(単位：百万円)



売上総利益率

13.5%

前期比 **+0.3ppt**

【プラス要因】

- ・一括買取をグループ全体に拡大、PTCAバルーンカテーテルから対象商品を拡大
- ・販売数量の増加によるリベート獲得等

販売管理費率

8.2%

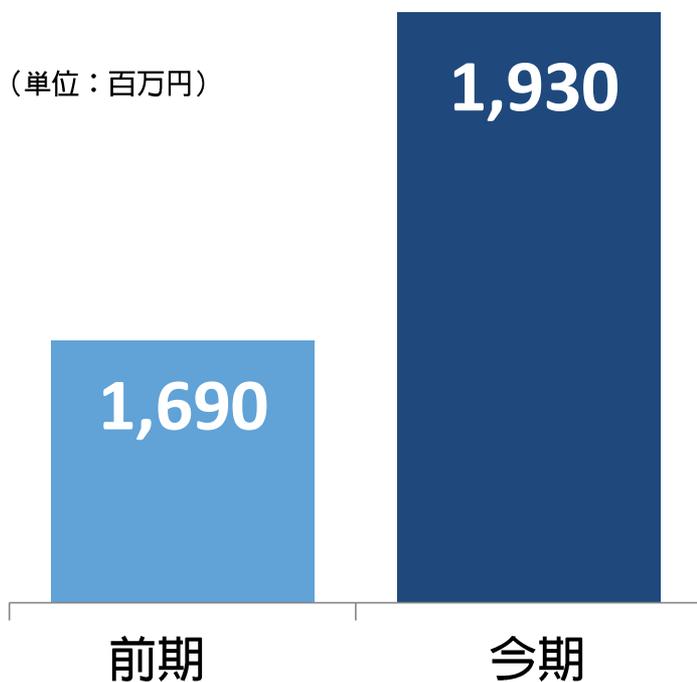
前期比 **+0.1ppt**

- ・人員増強の為、販売管理費 (前期比**+10.6%**)

当期純利益 +14.2%

(前期比)

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費

設備投資 3.2億円

(前期5.0億円)

減価償却費 2.8億円

(前期2.7億円)

業績、経営基盤の強化および
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら

配当性向 **30%以上** を目指します

2016年3月期 配当金予想

期末 **41** 円



本資料に関するお問合せ先：
ウイン・パートナーズ株式会社 社長室
TEL: 03-6895-1234 FAX: 03-5688-0891
HP: <http://www.win-partners.co.jp>

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。当資料に記載された内容は、2015年5月26日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

WIN A BETTER QUALITY OF LIFE
すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ